

いい、暮らし。まつやま

— Matsuyama Quality of Life Guide —



「いい、加減。」なセカンドライフ
ほどよく田舎で、ほどよく都会

松山暮らしの最新情報をWEBでチェック

松山への移住に役立つ情報を発信

いい、暮らし。まつやま

<https://matsuyama-kurashi.com>



松山の魅力や暮らしやすさを発信

いい、加減。まつやま

<http://www.dandanmatsuyama.com>



松山への移住相談はこちら

松山市では、市職員が移住コンシェルジュとして、移住希望者の方の相談に応じています。松山暮らしで気になるあれこれについて、まずはお気軽にご相談ください。松山市役所5階に、移住相談窓口も設置し、皆様のご来松をお待ちしております。

また、首都圏在住の方に向けて、東京の移住相談窓口でも、情報提供や相談に応じています。お気軽にお問い合わせください。

【まつやま移住相談窓口】

●シティプロモーション推進課内

愛媛県松山市二番町四丁目7-2 松山市役所本館5階

☎089-948-6095 (受付時間:月~金曜 8時30分~17時15分)

☎089-934-2578 iju@city.matsuyama.ehime.jp



【首都圏在住の方の相談窓口】

●松山市東京事務所

東京都千代田区平河町二丁目4-1

日本都市センター会館11階

☎03-3262-0974 ☎03-3239-6996

✉tokyo@city.matsuyama.ehime.jp

受付時間:9時00分~17時45分(土・日・祝日はお休み)

●えひめ移住コンシェルジュ

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8F

(ふるさと回帰支援センター内)

☎03-6273-4401(代表) ☎03-6273-4404

✉ehime@furusatokaiki.net

受付時間:10時00分~18時00分(月・水・祝日はお休み)



田舎のおだやかさもあれば、都会の便利さもある。
文化や歴史の楽しみもあれば、海や島の楽しみもある。
あったかい温泉もあれば、あったかい人間味もある。
松山は何かひとつだけがスゴイのではなく、
いろんなよさが絶妙に、程よく混ざり合う街です。
気の向くままにいろいろ楽しみ、味わい、暮らせる街です。
そういう松山らしい、ちょうどいい豊かさ。
この街に住む人、訪れる人に、もっともっと。

【発行:2017年3月】
松山市シティプロモーション推進課
WEB:アイムービック
編集:えひめリビング新聞社

市民の約9割が住み続けたい幸せ実感都市

松山が暮らしやすい 9つの理由

目次

- 1 松山が暮らしやすい9つの理由
- 【ココがいい、加減。】
- 3 ①: 利便性が高い
- 5 ②: 物価が安い
- 7 ③: 人があったかい
- 9 ④: 温泉の癒し
- 11 ⑤: 文学の薫り
- 13 ⑥: 温暖な気候
- 14 ⑦: 豊かな食材
- 15 ⑧: 医療施設が充実
- 16 ⑨: 余暇時間が長い
- 【移住者リアルボイス】
- 17 松山の先輩移住者171人に聞きました。
- 【移住体験談】
- 19 まちで暮らす
- 21 郊外で暮らす
- 23 島で暮らす
- 【松山暮らしをはじめの前に知っておきたい!】
- 25 移住支援制度
- 28 先輩移住者からのアドバイス
- 29 松山へのアクセス
- 30 松山基本DATA

田舎のおだやかさもあれば、都会の便利さもある。文化や歴史の楽しみもあれば、海や島の楽しみもある。あったかい温泉もあれば、あったかい人間味もある。

松山は何かひとつだけがスゴイのではなく、いろんなよさが絶妙に、程よく混ざり合う街です。

あれもこれもちょうどいい、加減な松山は、かつて「住みこちランキング」で日本一の栄誉に輝きました。最新の調査でも「主婦が幸せに暮らせる街全国5位」、「住みたい田舎ランキング四国1位」など、「暮らしこち」のよさが高く評価されています。

松山市民の約9割が「住み続けたい」と実感する松山の暮らしやすさのヒミツを探ってみましょう。



⑨
ココがいい加減。
余暇時間が長い

時間にゆとりがあるから
アクティブにスポーツが
楽しめる

→P16



⑧
ココがいい加減。
医療施設が充実

病院までの近さ日本一
24時間安心の
救急医療体制

→P15

⑦
ココがいい加減。
豊かな食材

瀬戸内の
豊かな自然が育んだ
おいしくて安心できる
食材が豊富

→P14



⑥
ココがいい加減。
温暖な気候

さわやかな青空が
広がる松山は
四国山地に守られた、
穏やかな地

→P13



⑤
ココがいい加減。
文学の薫り

文人を育み、
文人に愛されてきた
松山は、薫り高き
文学のまち

→P11



④
ココがいい加減。
温泉の癒し

神々も癒した名湯・
道後温泉は、
松山市民が誇る憩いの
オアシス

→P9

③
ココがいい加減。
人があったかい

穏やかな風土と
お接待文化に根ざした
松山の人のやさしさ

→P7



②
ココがいい加減。
物価が安い

住居費や物価などの
生活コストが低く
ゆとりのある暮らしを実現

→P5

①
ココがいい加減。
利便性が高い

街の真ん中にそびえる
松山城を中心に
あれもこれも集まる
コンパクトシティ

→P3



●ショッピングセンターへの近さ日本一



伊予鉄道松山市駅からL字型に続く「銀天街」「大街道」商店街周辺は百貨店や商業施設が充実。百万都市に匹敵するといわれる歓楽街もあります。

全国1位 ショッピングセンターへの距離の短さ
松山市 2.7km (全国平均12.5km)
出典:「地域の生活コスト「見える化」システム」(経済産業省)

●道後温泉まで路面電車で約10分

道後温泉や松山城は、観光客だけでなく市民の生活に溶け込んだランドマーク。市内中心部から道後温泉までは路面電車で約10分の近さです。



●松山空港まで車で約15分



市内中心部から松山空港まで車で約15分の近さ。首都圏や関西圏へも松山空港からLCCを利用すれば気軽にお出かけできます。

●住みたい田舎ランキング四国1位

風光明媚な瀬戸内の島々を擁する松山市は、宝島社発行の『田舎暮らしの本』の「住みたい田舎ベストランキング」で、平成27年度、平成28年度と2年連続で四国ブロック第1位に選ばれました。



●四国初の50万都市

松山市は人口約51万人の県庁所在地で四国最大の都市。市内中心部にそびえ立つ松山城を中心に、街・海・山がコンパクトに集まっています。



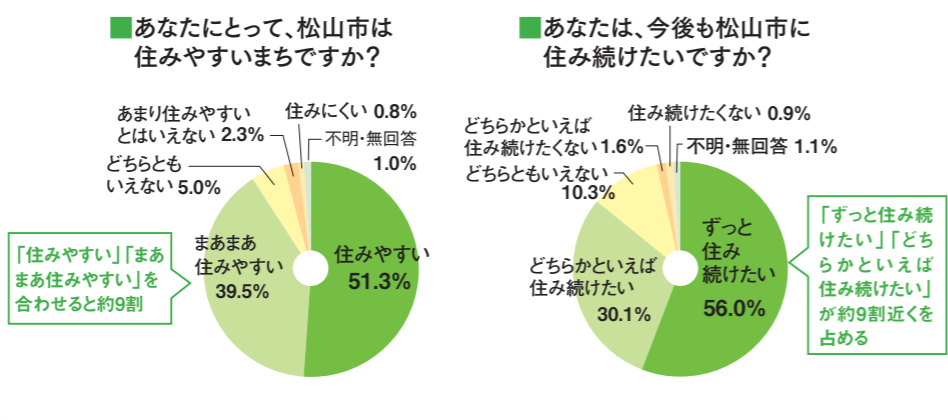
①
ココがいい加減。
利便性が高い

街の真ん中にそびえる松山城を中心に
あれもこれも集まるコンパクトシティ

約9割の市民が 住みやすさを実感!

かつて、日本一住みやすい街として、その名を馳せた松山市(※1)。市民意識調査(※2)によると、松山市民の約9割が松山の住みやすさを実感しています。

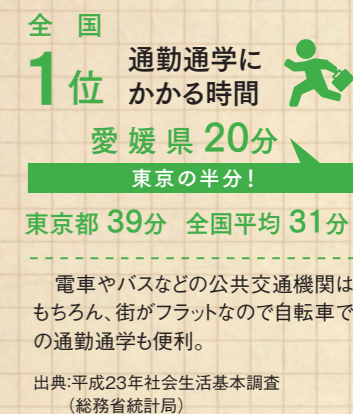
※1 平成2年:THE21 (PHP出版)の「住みごこちランキング」より
※2 新しい松山市総合計画策定に係る市民等意識調査結果(平成23年)



松山へ来た通勤族が驚くのが「スーパーや病院、学校など、生活に必要なものが近所で全部そろう」という利便性の高さ。通勤通学時間は全国で最も短く、東京の約半分の20分です。街がコンパクトで効率よく動けるおかげもあって、サラリーマンの平均仕事時間も全国で2番目の短さ。また、地元で採れた野菜や鮮魚が近所のスーパーにも並んでおり、「地域でとれた食材の入手しやすさ」「ショッピングセンターへの近さ」を見える化した経済産業省のデータでも全国1位に輝いています。

松山は、ほどよく都会で、ほどよく田舎のちょうど「いい、加減。」なコンパクトシティなのです。

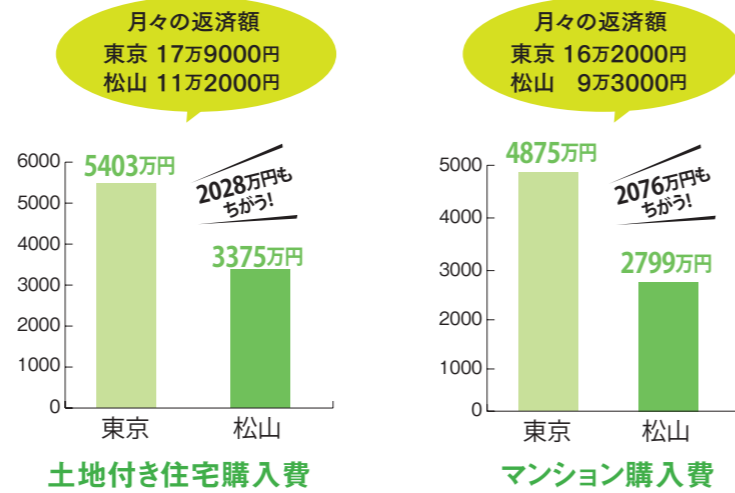
お城が見えるエリアで仕事も買い物も全部できる



土地付き住宅購入費とマンション購入費を比べてみると

土地付き住宅、分譲マンションともに、東京都と比較すると約2000万円もの差があります。月々の返済額も7万円近く東京より少ないデータが出ています。

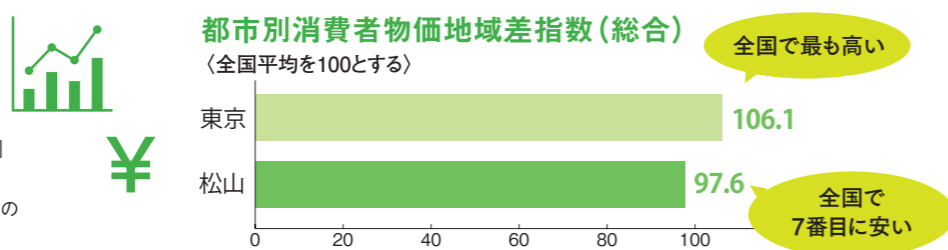
平成26年 住宅金融支援機構 フラット35利用者調査
月々の返済額(固定金利2%、35年払い)



都市別消費者物価を比べてみると

出典:平成26年「小売物価統計調査(構造編)」
総務省統計局

※都道府県庁所在市(東京は23区)および4つの
政令指定都市の消費者物価地域差指数



年金世代のひと月の家計簿を比べてみると

四国と首都圏の生活費を比べると、1カ月の生活費の支出で33,574円、年間では約40万円(402,888円)、60~80歳の老後20年間では約805万円の差が出てきます。



四国は首都圏に比べて、
消費支出が約1割、
食料費では約2割少ない

	四 国		首都 圏	
	金 額	構成比	金 額	構成比
世帯人員	2.23人		2.42人	
配偶者の有業率	5.3%		8.0%	
世帯主の年齢	73.1歳		73.0歳	
実支出	257,847円	100.0%	293,557円	100.0%
消費支出(A)	228,899円	88.8%	262,473円	89.4%
食 料	55,198円	21.4%	68,845円	23.5%
住 居	16,169円	6.3%	19,224円	6.5%
光熱・水道	18,937円	7.3%	22,667円	7.7%
家具・家事用品	9,588円	3.7%	10,774円	3.7%
被服および履物	6,519円	2.5%	8,150円	2.8%
交通・通信	11,996円	4.7%	16,893円	5.8%
保健医療	26,622円	10.3%	25,823円	8.8%
教 育	171円	0.1%	1,153円	0.4%
教養娯楽	19,816円	7.7%	29,607円	10.1%
その他の消費支出	63,883円	24.8%	59,336円	20.2%
非消費支出(B)	28,948円	11.2%	31,084円	10.6%

出典:平成25年 家計調査(総務省) 四国=四国圏 首都圏=関東大都市圏



愛媛県の人口10万人あたりの百貨店・スーパー数は6.16事業所で全国5位
出典:平成27年4月分商業動態統計調査(経済産業省)、平成26年10月人口推計(総務省統計局)

賃貸物件の安さ日本一
マイホームの夢も叶えやすい

全国の都道府県庁所在市の民間借家の家賃を調べたデータによると、松山市の家賃が最も安く、最も高い東京都区部の半額以下です。住宅購入費の安さも際立っており、土地付き住宅、分譲マンションともに、東京都と比べると約2000万円の差があります。

また、松山市は全国の県庁所在市で7番目に物価が安い都市です。

さらに、年金世代の四国暮らしと首都圏暮らしのひと月の家計簿を比べると、四国は首都圏に比べて、消費支出が約1割、食料費では約2割少なく、1カ月の生活費は3万3574円、年間では約40万円の差が出ます。老後20年間と考えると、約805万円の差になります。

全 国
1位 民営賃貸住宅の家賃の安さ

3.3㎡あたりの家賃1ヵ月分

東京都区部 **8,758円**

松山市 **3,285円**
東京の半額以下!

出典:平成25年小売物価統計調査(動向編)
(総務省統計局)

②
ココがいい加減。
物価が安い

住居費や物価などの生活コストが低く
ゆとりのある暮らしを実現

全 国
5位

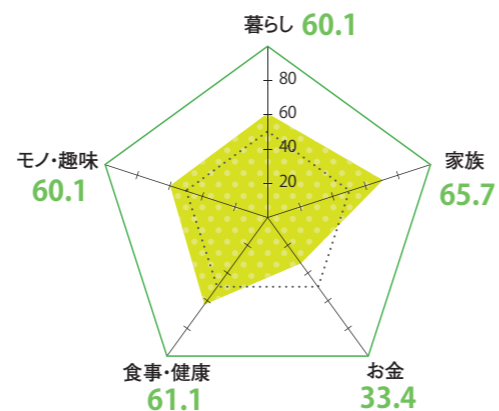
主婦が幸せに暮らせる街ランキング

全国の20~40代の主婦4793人を対象に、「暮らし」「家族」「お金」「食事・健康」「モノ・趣味」の5つの指標を点数化した調査で、松山市は藤沢市(神奈川県)、稲城市(東京都)、西宮市(兵庫県)、三鷹市(東京都)に次ぐ第5位にランクインしました。

5つの指標の中でも、松山は特に「家族」の幸せ度が高い結果が出ました。さらに、暮らしている地域の住民や環境についても、「親切・優しい人が多い」「人懐っこい人が多い」と感じている傾向が高いようです。

「家族仲」に加えて、「ママ友」との関係性も良好なことが、松山のママたちの幸せ度の高さにつながっているようです。

人間関係のよさを
主婦も実感



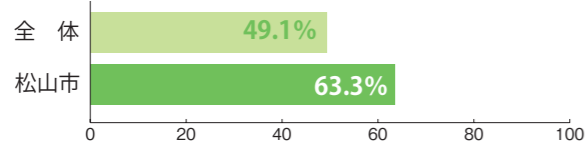
松山的主婦は家族が仲良く、健康で楽しい暮らしを送っている

出典:平成26年(株)学研パブリッシング調べ

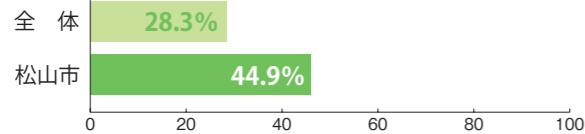
ここにも注目!

松山は家族仲、ママ友仲が良く、優しく、人懐っこい人が多い土地柄

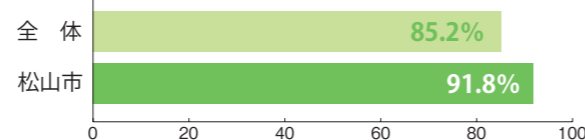
親切・優しい人が多い



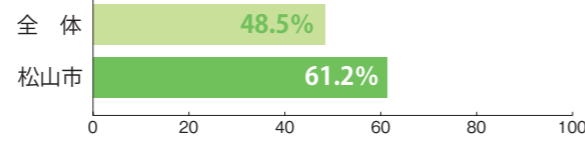
人懐っこい人が多い



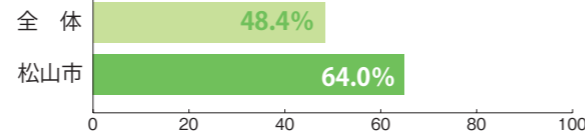
家族に幸せを感じている



マナーが守られている



ママ友との仲が良好



1 四国霊場第48番札所浄瑠璃寺。地元有志によるお接待に心がほっこり
2 松山市と久万高原町を結ぶ三坂峠を下ってきたお遍路さんをもてなす接待所・坂本屋
3 道後温泉から歩いて15分ほどの第51番札所石手寺はお遍路さんや多くの湯治客でにぎわう

3
ココがいい加減。
人の良さ

穏やかな風土とお接待文化に
根ざした松山の人のやさしさ

「まごころをこめて」松山の魅力をご案内

松山観光ボランティアガイド

松山市民のボランティアガイドが、松山城や道後温泉周辺、坂の上の雲ミュージアム周辺のみどころを無料で案内してくれます。松山の魅力を知る第一歩として、お気軽にご利用ください。1週間前までの事前予約がおすすめです。



▲松山城を案内する観光ボランティアガイド

☎ 089-935-7511 (松山観光ボランティアガイドの会事務局)
<http://www.matsuyama-guide.jp>

松山全体でおもてなし力をアップ

「おもてなし日本一のまち」を宣言

松山市では平成25年に「おもてなし日本一のまち」を宣言しました。「おもてなし」(「お」温泉・お城・お遍路、「も」物語、「て」てづくり、「な」なもし(方言)と笑顔、「し」しき(子規・四季)・漱石)をキーワードに、松山全体でおもてなし力を向上させる取り組みを行っています。



<http://www.jemcci.jp/omotenashi/top.html>

親切で心優しい人が多いから
良好な人間関係が築けるまち

県外から訪れた人たちが口を揃えて称えるのが「松山人の人の良さ」。司馬遼太郎も小説『坂の上の雲』の中で「(松山の)人は闘争心が薄い」と書いているほど、松山の人たちは穏やかで心優しい暮らしを営んでいます。

その気質は、温暖な気候や恵まれた自然、そして四国遍路のお接待文化によって育まれました。市内には四国霊場が四国内の市町村で最多の8カ寺もあり、昔からお遍路さんと深く関わってきました。そのため、おもてなしの心が深く浸透しており、ほかの地から来た人たちが快く迎え入れる気持ちも自然と身についているのです。

あたたかい人が多い松山なら、人間関係に苦労することなく穏やかに暮らせること間違いなしです。

全 国
1位 ボランティア時間は
日本一
愛媛県 7分

ボランティア活動・社会参加活動にかける時間は、日本最長。まわりを気に掛ける優しい心が数字にも表れました。ここにも、お接待の心が息づいています。

出典:平成23年社会生活基本調査結果(総務省統計局)

道後温泉が愛される理由

● 歴史上の偉人も大勢訪れた



▲霊の湯三階席では坊っちゃん団子のお接待が受けられる

道後温泉には昔から多くの文人墨客も訪れています。明治の文豪・夏目漱石は、本館完成の翌年に松山中学の英語教師として松山に赴任。頻りに道後温泉に通い、友人への手紙や小説『坊っちゃん』で絶賛しています。

● 65歳以上の市民なら割安で入れる

道後温泉本館には「神の湯」と「霊の湯」の2つの湯があります。そのうちの「神の湯」は銭湯感覚の湯。昔から市民に愛されてきました。入浴料は大人410円(※1)ですが、65歳以上の松山市民(※2)なら200円で利用できます。



▲神の湯男湯には小説『坊っちゃん』の中に登場する「湯の中で泳ぐべからず」にちなんだ注意書きの札がある

※1 神の湯階下利用のみで休憩室は利用できない
 ※2 松山市内に住民登録している65歳以上の人が対象

● もう一つの湯「椿の湯」も人気

道後温泉本館とは別に、道後商店街の中央付近に「椿の湯」という公衆浴場もあります。昭和59年に改築され、市民の湯として親しまれています。入浴料は大人400円(※1)、65歳以上の松山市民(※2)なら、200円で利用できます。

- ❶ 国の重要文化財に指定されている道後温泉本館は、松山市民が管理する現役の公衆浴場
- ❷ 湯上がりにくつろげる神の湯二階席は55畳もの広さ
- ❸ 日本で唯一の皇室専用浴室「又新殿(ゆうしんでん)」があるのも歴史ある道後温泉ならではの魅力
- ❹ 道後温泉駅前の放生園には無料で利用できる足湯もある



▲地元客が足繁く通う椿の湯

新しい温泉がオープン!

松山・道後の新たな温泉文化を発信する拠点として、飛鳥時代をイメージした湯屋の再現をコンセプトとした温泉施設「道後温泉別館飛鳥乃湯泉」が平成29年9月にオープン。内部空間は、「太古の道後」をテーマに、道後温泉にまつわる伝説や物語などを、「愛媛の伝統工芸」と「最先端アート」をコラボレーションした作品で演出。ますます道後の街が魅力的に!



▲完成イメージ(道後温泉別館飛鳥乃湯泉)



④ ココがいい加減。温泉の癒し

神々も癒した名湯・道後温泉は、松山市民が誇る憩いのオアシス

日々の暮らしの中で温泉を楽しめる贅沢。日本最古の湯として知られる道後温泉。その歴史は三千年にもおよび、神々の時代から多くの人々を癒してきました。聖徳太子や斉明天皇をはじめとする貴人たちの行幸の記録も残っています。

そんな道後温泉の中心となるのが、堂々たる木造三層楼の道後温泉本館。アルカリ性単純泉のお湯は源泉100%で美人の湯とも言われ、美容や疲労回復目当てに足繁く通う市民も大勢います。また、朝6時に打ち鳴らされる「刻太鼓」の音とともに朝湯を楽しむ人も少なくありません。

公衆浴場として初の国の重要文化財に指定され、ミシュラン三ツ星も獲得した温泉を好きなきときに好きに楽しむのは、松山市民ならではの特権です。

全国 1位 公衆浴場数 (中核市比較)
 松山市 194施設

道後温泉の他にも、市内各所の温泉は松山人の心のオアシス。自宅のお風呂代わりに毎日の温泉通いがルーティーンの人々も珍しくありません。

出典:平成25年度衛生行政報告例(厚生労働省)

文人を育み、文人に愛されてきた
松山は、薫り高き文学のまち



「ことば」があふれる街

●いつも身近に俳句がある

松山市内92カ所に「観光俳句ポスト」を設置。これは俳句投稿用のポストで、2ヶ月に一度開函し、優秀作品を松山市ホームページや愛媛新聞紙上で発表しています。

またインターネット上にも俳句投稿を受け付ける俳句ポスト365を開設しています。



▲湯釜を模した俳句ポスト

▲松山城には句碑型の俳句ポストも

▶路面電車の中にも俳句ポストが

●17音の真剣勝負「俳句甲子園」

俳句甲子園は、高校生のための俳句全国大会です。毎年夏、地方予選を勝ち抜いたチームが松山に集まり、みずみずしい感性が光る俳句を披露。熱い戦いを繰りひろげます。ことばをめぐる真剣な戦いは、見るものの心を強く打ちます。



▲高校生が熟戦を繰り広げる俳句甲子園

●街はことばのミュージアム

平成12年に松山市がスタートさせた「ことばのちからイベント事業」。その一つとして、21世紀に残したいことばを募集したところ、国内外からたくさんのことばが寄せられました。その中から選ばれた「ことば」が、街中のあちこちに掲示されています。「年中無休であなたがだいすき!」「なあ婆さん、昔みたいに手繫いでみるかな。」ふと目にしたことばから、ほっこりした気分になれるまち、それが松山です。

▶松山城下をガタゴト走る路面電車にもことばを掲示



- 1 標高132mの勝山山頂にそびえる松山城は松山のシンボル。国内現存12天守のひとつで、世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」の「行って良かった日本の城ランキング2014」第2位に輝いた。春は桜の名所として多くの市民や観光客でにぎわう
- 2 正岡家の菩提寺・正宗寺内にある子規堂。子規の勉強部屋を復元したコーナーも
- 3 6万点近くの子規関連の貴重な資料を収蔵する松山市立子規記念博物館。館内には子規と親友の夏目漱石が50日余りを共に暮らした愚陀佛庵の1階部分を復元
- 4 秋山兄弟生誕地の庭には、兄弟の像が向かい合って立つ
- 5 松山城の南麓に立つ坂の上の雲ミュージアム。世界的建築家・安藤忠雄が設計した建物は多くの建築ファンにも愛されている



「気候温暖で郊外に温泉があり、すべてが
駘蕩としているため、人は闘争心が薄い。」

—— 司馬遼太郎著「坂の上の雲」より

松山に生まれ育った正岡子規、秋山好古・真之兄弟を中心に、明治に生きた若者たちの高い志を描いた『坂の上の雲』。全6巻の長編小説で、松山を舞台に物語は始まります。司馬遼太郎は松山の風土を「すべてが駘蕩としている」と書きました。俳句や能などを楽しみ、おおらかな精神をもった明るい土地柄が描かれています。

▶子規や秋山兄弟が見上げて育った松山城



「ずんぶり温泉のなかの顔と顔笑ふ」
「落ち着いて死ねさうな草萌ゆる」

—— 種田山頭火

山口県に生まれた種田山頭火は、幼いころに母を亡くすなど不幸が続き、行乞行脚の旅をしながら句作を続けました。昭和14年、友人の厚意により松山城の北にある御幸寺境内の「一草庵」と名付けた小さな庵で暮らします。破滅的な人生を送った山頭火でしたが、松山で詠んだ晩年の句は心の安らぎを感じさせます。

▶山頭火の終の棲家となった一草庵



俳人・正岡子規が生まれ
名作『坊っちゃん』の舞台となった
「いで湯と城と文学のまち」松山。昔から数々の文人が活躍し、また名作の舞台となってきました。

明治時代を代表する文学者で俳人の正岡子規は松山出身。その子規と深い親交があったのが文豪・夏目漱石です。漱石は帝国大学卒業後、英語教師として松山に赴任。その体験をもとに、小説『坊っちゃん』を書いたことは有名です。

司馬遼太郎の代表作の一つ『坂の上の雲』は、子規とともに激動の明治時代を高い志を持って生きた秋山好古・真之兄弟の生涯を描いた作品で、3人のふるさとである松山も主要な舞台となりました。

昭和初めには、放浪の俳人・種田山頭火が松山を終焉の地を選び、亡くなるまでの1年足らずを道後温泉に近い一草庵で心穏やかに過ごしています。

全国初
日本で初めて
「観光俳句ポスト」が
設置された俳句王国
春や昔十五万石の城下哉
子規





1 ジューシーでゼリーのような食感。12月頃が旬でギフトに最適
 2 ジューシーさ、甘さ、コクと香りを受け継いだ上品なおいしさ
 3 島しょ部で養殖され、肉厚でやわらかい。顔は昆布とわかめ
 4 木にならせてじっくり熟成。皮はむきやすく、甘さと酸味のバランスがいい
 5 速い海流で育つカタクチイワシ。輝く銀色のウロコにうま味を封じ込める
 6 40cmを超えることも。やわらかくてきめが細かく、甘みがあって種がない
 7 豆一粒の大きさが一寸(約3.3cm)もある松山の初夏の味
 8 標高250mの伊台・五明地区で栽培される大粒で甘いぶどう
 9 芽と茎のバランスが良く、しゃきしゃきした食感が特長で、カルシウムや食物繊維を多く含む

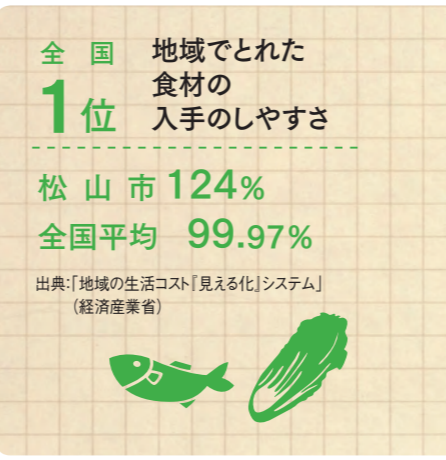
⑦ ココがいい加減。
豊かな食材

瀬戸内の豊かな自然が育んだ
おいしくて安心できる食材が豊富

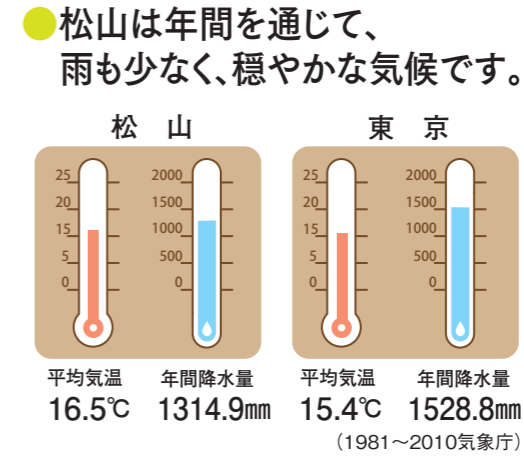
産直コーナーも充実
 JAえひめ中央が運営する太陽市、道の駅の産直市などのほか、市内スーパーの産直コーナーでも地元産の新鮮野菜や果物をお手頃価格で購入することができます。瀬戸内の新鮮な魚介類が買える三津の朝市も定期的開催されています。
 ▶新鮮な農林水産物が勢揃いするJAえひめ中央「太陽市(おひさまいち)」

松山の郷土料理
 まつやまずし 子規も大好き 松山鮓
 焼きアナゴや旬の白身の魚など、瀬戸内海の海の幸をふんだんに盛りつけたぜいたくなちらし寿司。松山では昔から祝い事やハレの日の欠かせないごちそうです。夏目漱石が初めて松山を訪れたときも、子規は母の作った松山鮓でもてなしたそうです。

伝統の味から新品種まで
 県内各地から美味大集合
 温暖な気候と豊かな自然に恵まれた松山は、おいしい食材の宝庫。野菜、果物はもちろん、瀬戸内の魚介類など、地元産の旬の食材が豊富に回り、産直市などで手頃な価格で購入できます。生産者の中にはめずらしい品種に取り組み人もいて、今までに見たこともないような野菜が並んでいることも。また、魚の養殖が盛んな南予地方のブリや鯛、山間部で栽培された栗やきのこなど、県内各地の食材も集まってくるので、バラエティ豊か。そのため、各地の産直市は、おいしい食材を求める大勢の人でいつも賑わっています。こうした新鮮で種類豊富な地元食材の中から、まつやま農林水産物ブランドを認定しています。



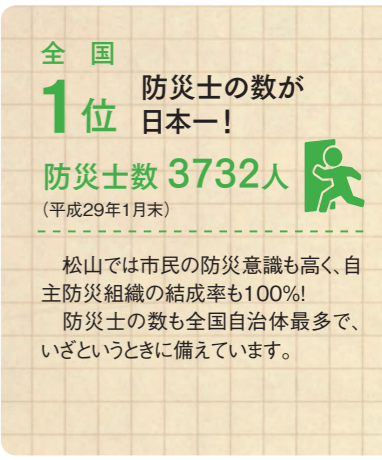
●松山市民の高い節水意識の成果
 市民1人当たりの給水量の少なさ
全国1位(中核市)
 平成26年度の市民1人1日当たりの上水道給水量は281リットルで、中核市で一番少ない都市です。
 1位 松山市 281リットル
 2位 柏市 285リットル
 3位 久留米市 287リットル



松山は年間降水量が少ないことから、市民の節水意識も高く、市民一人当たりの給水量は、全国の中核市の中で一番少ない都市になっています。一方、防災についても市民の意識は高く、自主防災組織の結成率は100%で、防災士の数も全国の自治体で最多です。また、人口50万人以上の都市の中で、ごみの排出量が最少であり、市民のエコ意識の高さも自慢のひとつです。

⑥ ココがいい加減。
温暖な気候

さわやかな青空が広がる松山は
四国山地に守られた、穏やかな地



●サイクリング

愛媛県では『愛媛マルゴト自転車道』を展開しており、「松山・今治サイクリングコース」の道路には「ブルーライン」が整備されている



●ランニング

全国から1万人以上のランナーが参加する「愛媛マラソン」や「坊っちゃんランランラン」などのランニング大会を目標に健康作りに励む市民も多い

●ウォーキング

緑豊かな城山公園周辺や石手川沿いは絶好のウォーキングルート。季節の移り変わりを楽しみながら、気軽に散歩が楽しめる



●野球

松山は古くから野球熱が高い土地柄。松山商業や済美高校など全国高校野球選手権大会の名門校も多い

9
ココがいい加減。

余暇時間が長い

時間にとりがあるから
アクティブにスポーツが楽しめる

8
ココがいい加減。

医療施設が充実

病院までの近さ日本一
24時間安心の救急医療体制



1 松山赤十字病院新病棟の完成予想図 2 愛媛県立中央病院 3 四国がんセンター
4 夜間の内科・小児科の応急診療にあたる松山市急患医療センター

ワンストップで相談できる 福祉総合窓口

高齢者や障がいのある人たちの利便性の向上を図るため、福祉に関する総合的な相談ができる「福祉総合窓口」を、2012年に市役所別館1階に開設。国保・年金、介護保険、高齢福祉、子育て支援、障がい福祉に関する手続き（一部を除く）が、ワンストップ（1カ所）で行えます。

愛媛県内の医療機関が検索できる えひめ医療情報ネット

<https://www.qq.pref.ehime.jp/>

県内医療機関（病院、診療所、歯科診療所、薬局等）が検索できます。日ごろから「かかりつけ医」を決めておけば、いざというとき相談できて安心です。

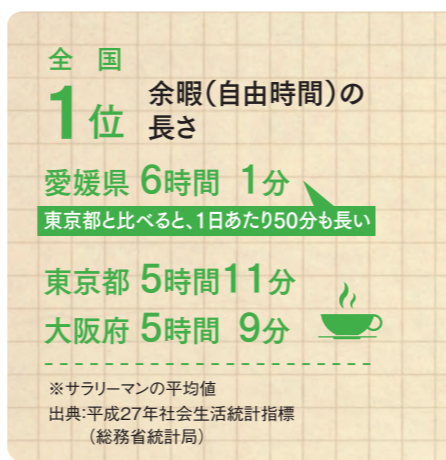


松山では、余暇時間にスポーツを楽しむ人が大勢います。今、幅広い世代に人気なのが自転車。街がコンパクトなので、通勤や通学に利用する人も多いのですが、休日にサイクリングを楽しむ人も増えてきました。郊外は車も少なく、安心して走ることができます。

緑豊かな城山公園や石手川沿いでは、ニューヨークのセントラルパークのようにランニングを楽しむ人たちもいます。手軽な健康法としてウォーキングも人気が高く、松山市では松山市地域保健推進協会の協同で、各地域のウォーキングマップを作成して健康づくりに役立ててもらっています。

風光明媚な瀬戸内海を望むゴルフ場も市内中心部から30分ほどの近距離にあります。

いろいろなスポーツが楽しめる環境が整う

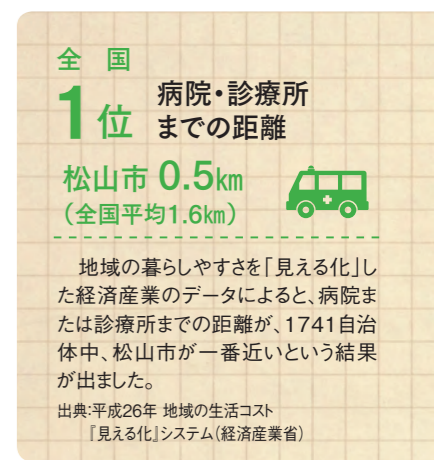


また、松山郊外には愛媛県のがん診療連携拠点病院である四国がんセンターがあり、隣接する東温市には愛媛大学医学部附属病院もあり、高度な専門治療が受けられます。

さらに、24時間体制の小児救急をはじめ、いざという時に安心の救急当番制による救急医療体制も整っています。

また、松山郊外には愛媛県のがん診療連携拠点病院である四国がんセンターがあり、隣接する東温市には愛媛大学医学部附属病院もあり、高度な専門治療が受けられます。

さらに、24時間体制の小児救急をはじめ、いざという時に安心の救急当番制による救急医療体制も整っています。





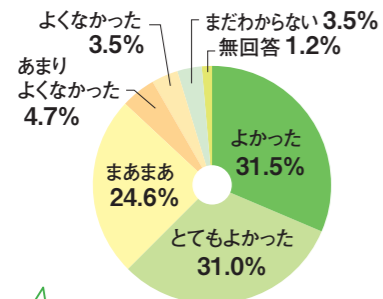
松山の先輩移住者

171人に聞きました。

移住してみてよかった? それとも...?
松山での暮らしって、
ホントのところはいいのかな? !
先輩移住者171人が本音で答えてくれました。

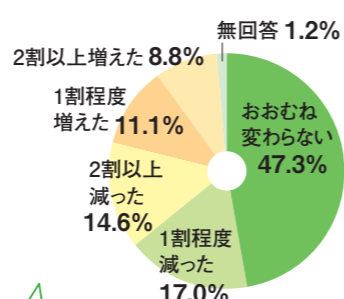
実際に暮らしたホンネを聞きました

■暮らしてみてよかった?



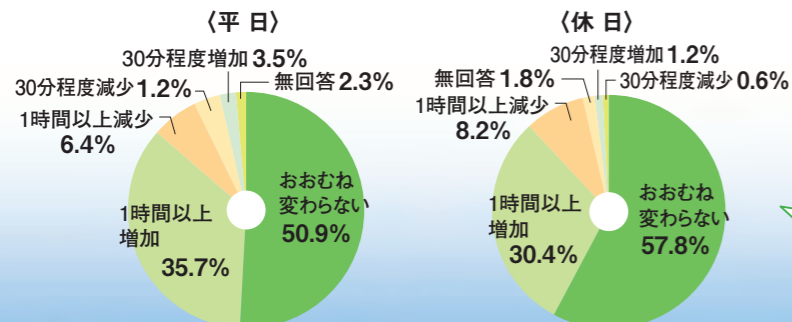
- ・少し足を延ばせば、自然がいっぱい。(20代)
- ・街全体がコンパクトで、必要なものが手の届く範囲に集まっている。(30代)
- ・観光客が多いせいか、活気がありますね。(40代)
- ・気候も人も穏やか。(40代)
- ・おいしくてリーズナブルな食材が豊富。(50代)
- ・ふらっと温泉や海に遊びに行けること。(60代)

■世帯支出は増えた?減った?



- ・コソつかめば生活費はかなり抑えることができますよ。(40代)
- ・首都圏と比べると物価は安いけど、給与水準も低いので、そのあたりを把握しておきましょう。(40代)
- ・本州に実家があると帰省の費用がかかるのでLCCなどを賢く活用しよう。(20代)
- ・都会と比べるとパートやアルバイトの賃金が低いです。(40代)
- ・子どもが県外に進学する可能性も考えて準備しておいた方がいい。(40代)
- ・野菜など、生鮮食品が安くおいしい。家賃など固定費も抑えられる。(30代)

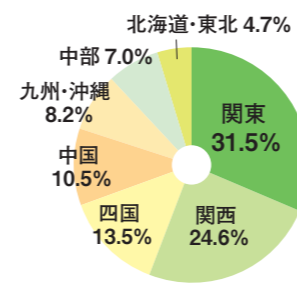
■余暇時間は増えた?減った?



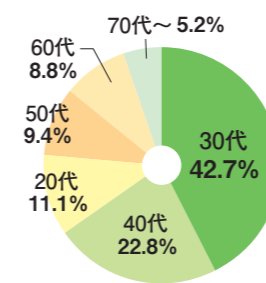
- こんなふうに余暇を過ごすようになりました
- ・自転車の趣味ができました。(30代)
 - ・毎週どこかの温泉に浸かりに家族で出かけている。(30代)
 - ・通勤時間が短いので家族と過ごせるようになりました。(30代)
 - ・自然を満喫。お金を使うことなく家族で遊べます。(30代)
 - ・庭仕事や畑仕事をするようになりました。(40代)
 - ・フィットネスクラブに通うようになって、健康的になった。(50代)
 - ・近場で釣りを楽しんでいます。(50代)
 - ・ゴルフの回数が増えた。(70代~)

答えてくれたのはこんな先輩たちです

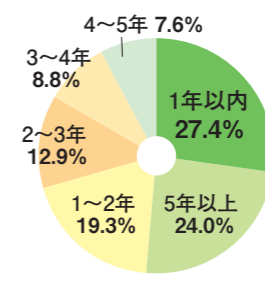
■出身地



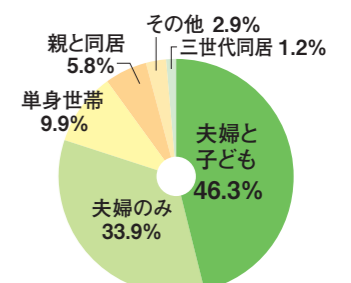
■移住時の年齢層



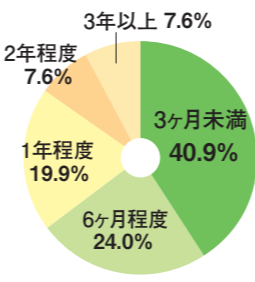
■移住歴



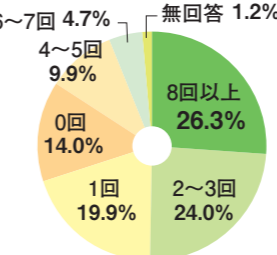
■家族構成



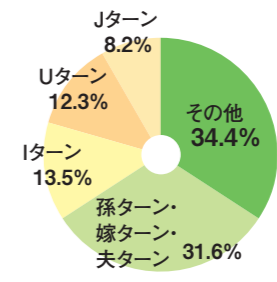
■移住を検討した期間



■移住するまでに足を運んだ回数は?

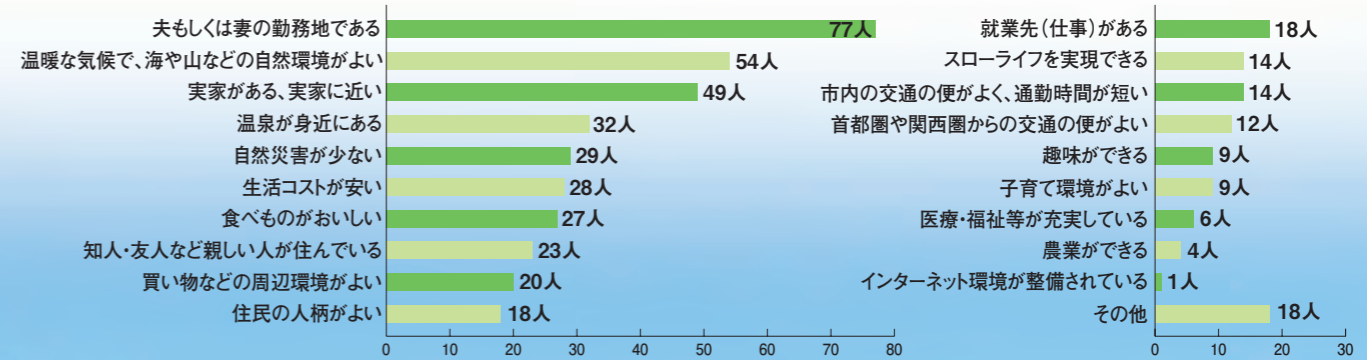


■移住のスタイルは?



Uターン…地方出身者が都会で生活後、出身地へ戻ること
Iターン…都会の出身者が地方へ移住すること
Jターン…地方出身者が都会で生活後、出身地近くの中規模な都市に移住すること
孫ターン…祖父母の暮らす地方へ移住すること
嫁ターン・夫ターン…自身の妻・夫(予定も含む)の出身地へ移住すること

■松山を選んだ理由は?(複数回答)



まちで暮らす

移住体験談

長く県外に
離れたからこそ実感した
郷里の温もりと
住みやすい気候風土



かわぎしひろあき みつえ
川岸広明さん(54)、三恵さん(52)夫妻
ともに松山市出身。2014年7月、夫・広明さんの転勤で松山に帰郷する

瀬戸内海の風を感じながら
休日過ごす川岸さん夫妻



道後界隈は川岸さん夫妻の散歩コース



鯛めしの夕食は、
すべて広明さん
の手料理



絵と言葉のコラボ
が絵手紙の魅力



無料の足湯で体の芯までポカポカ

～移住までの道のり～

- 移住年月／2014年7月
- Uターン
- 移住前の住まい／兵庫県西宮市
- 職業／会社員(夫)
- 家族構成／夫婦
- 移住のきっかけ／いずれは帰郷して松山に住みたいと思っていた
- 松山を選んだワケ／県外で生活する事で松山の住みやすさを実感したから
- お気に入りの場所は／海岸線のドライブ 温泉めぐり
- 移住の先輩として一言／都会のタイトな生活に疲れたら、ぜひゆったりとした松山に来て心と身体を癒やしてください

帰郷の願いが叶い 郷里に家を建てる夢も実現

松山出身の川岸さん夫妻は、大学卒業後、仕事の転勤で高知、東京、大阪、富山、兵庫で生活してきた。とりわけ13年間の東京暮らしが一番長かったが、2014年念願かなって松山への転勤が実現した。「松山を離れて過ごした月日が、郷里の人肌の温もりと住みやすい気候風土を覚えてくれました」と振り返る。

「都会は情報量が多すぎて、逆にいろんな情報をスルーしてしまいがちですが、松山は適度な情報量で、取捨選択しやすいのも住みやすさにつながっているのかもしれない。人として豊かに生

きていくには、松山は最適だと思いま

す」
松山に帰郷後、道後の自宅から瀬戸内海の島々が美しい海岸線へドライブに出かける機会も多い。

「心をリフレッシュしたいとき、山や海にすぐ行けるのも大きな魅力ですね。瀬戸内海の美しい海を眺めていると、心が洗われます。海に落ちてゆく夕日もとてもきれいですよ。松山は晴れの日が多く、風も穏やかに感じます」

いつか松山に帰り家を建てたい、と願っていた川岸さん夫妻の夢がもうすぐ実現する。友人が所有する愛媛の山の木材を使い、家の設計も友人が手がけてくれる、まさに手づくりの家が2016年の12月完成予定だ。

休日は温泉めぐりと 広明さんの手料理でパワーアップ

休みの日にはよく温泉に出かけるという広明さん。時にはジョギングやフィットネスクラブで汗を流した後、夫婦で近所の道後温泉街を散歩することも。「道後の散歩途中で歩き疲れたら、足湯でひと休みできるのも楽しいですね」

広明さんのもう一つの趣味は、地元食材を使った手料理。週末は昼食も夕食も広明さんが担当する。新鮮な魚は行きつけの魚屋さんで吟味。松山の郷土料理・鯛めしは広明さんの得意

心を豊かにしてくれる 俳句と絵手紙

三恵さんの趣味は、俳句と絵手紙。「松山は正岡子規ゆかりの土地とあって、俳句人口も多く、俳句好き仲間が集まる小さなグループで、月に一度句会を開いて、句を披露し合っています。吟行も楽しいですよ」

絵手紙は講師の資格を取得し、教室も開いている。俳句や絵手紙を通して、言葉の奥深さを日々感じながら充実した日々を過ごしている。

～ある日のスケジュール～

7:00

◎起床

広明さん、三恵さん起床
三恵さん朝食を準備

8:00

◎朝食

広明さん三恵さん朝食

9:00

◎ドライブ

夫婦で海岸線をドライブ

11:00

◎昼食の準備

広明さんが昼食を準備

13:00

◎スポーツクラブ

広明さんはスポーツクラブで汗を流す

14:00

◎ヨガ

三恵さんはヨガで健康づくり

先生の指導を受ける三恵さん



17:00

◎夕食の買い出し

広明さんは夕食の買い出しに魚屋さんへ

行きつけの魚屋さんで
食材を選ぶ広明さん



19:00

◎夕食

広明さん手づくりの夕食

22:00

◎お風呂

お風呂に入り、その後就寝

松山暮らしのアドバイス /

松山は望むライフスタイルが選べる場所です。便利な暮らしをしたければ中心部、田舎暮らしをしたければ周辺部、島の暮らしも、山の暮らしも、様々なライフスタイルが選べる魅力ある都市です。



～ある日のスケジュール～

6:00

◎起床 朝食

起床後、空を見て今日1日の天候を占う庭に出て乾かしておいた野菜くずを土に混ぜてから朝食タイム

10:00

◎ブログ更新

カフェで考えた文章をブログにまとめる

日課のブログの更新をする
うえのさん



12:00

◎昼食

お気に入りのカフェでランチ

14:00

◎薪割り

近隣の山で薪拾い。自宅の庭で薪割りなど



松ぼっくりが着火剤

カ仕事の薪割りもこなす

16:00

◎温泉

疲れを癒しに温泉へ

19:00

◎夕食

家庭菜園でできた野菜を使って夕食作り

21:00

◎ネットサーフィン 読書

ネットサーフィンや読書を楽しむ
ジャズを聴きながら就寝

＼松山暮らしのアドバイス／

松山は海も山も近く、本当にコンパクトにできています。不便を感じた事はありません。都会の暮らしとは違うので、物の見方を変えて人生を豊かに生きる工夫をしていく事が大切ですね。また、私たちは夫婦で移住しましたが、千葉の子どもたちとも頻繁に行き来があり、孫は田舎ができたこと喜んでいました。松山は都会へのアクセスも良いので、移住後も子どもや長年交流のある友人と変わらずに親交を深める事ができますよ。



愛媛県産の食材を使った手づくりジャム(梅・カリン・イチジクの3種)と一緒に味わう朝食



梅酒・レモン酒・かりん酒も愛媛県産素材



畑で収穫したさつまいもと干し柿ときいも

料理関係の仕事をしていたうえのさん。松山に移り住んで、野菜のおいしさに驚いたという。「千葉に住んでいた時から、食材にこだわっていましたが、全く違うと感じました。新鮮でみずみずしくて、野菜が持つ本来の味に出合った感じ。海の幸も美味で、食事がとてもおいしい」と笑顔で話す。

庭の家庭菜園でも野菜を作っており、今ではうえのさんが自宅で育てた野菜を首都圏の友人が購入してくれ

野菜のおいしさに感動
リフレッシュはカフェめぐり

「移住前は料理教室も開いていたので、松山でも今後ぜひ料理教室を開きたい」と意欲的だ。

うえのさんの趣味の一つがお気に入りのカフェめぐり。「松山はカフェが多く、カフェ文化が発達していますね。ブログの文章をまとめるとき、お気に入りのカフェに行きます。魅力あるカフェがたくさんあって、週に2、3回は通っています」

さらに体が疲れた時には温泉へも足を運ぶ。うえのさんの自宅から道後温泉まで車で10分ほどの近さ。自然の恵みを生かす丁寧な生活を通して、心豊かな松山暮らしを楽しんでいる。

移住体験談

田舎すぎず
都会すぎず
自然と共存できる場所

うえのるみこさん

東京都出身。移住は2011年8月。
千葉から夫婦で松山へ移り住む。

移住のきっかけは東日本大震災。「千葉市のベイタウンの住まいが液状化の被害を受け、移住を考えるようになりました」東京出身のうえのさんは、元々田舎暮らしが夢だったという。愛媛に移住した友人の話や、松山に旅行した際、地元の人と交流するようになり、松山への移住を決意した。

うえのさんの松山の住まいは、中心部から車で約20分離れた高台にあり、自宅からは遠くに伊予灘の美しい海も見渡せる。

「わが家は薪ストーブの暖炉で暖をとっています。近くに薪拾いに行つて

「松山は不便のないコンパクトでバランスのとれた街です。食べ物が美味しく、海も山も温泉もあります。台風などの自然災害も少ないので、安心して穏やかに暮らせませす。震災が移住のきっかけだった私にとって、安心して暮らせる事も松山の大きな魅力です」

常に変化を恐れず、前向きに行動してきたうえのさん。松山は、田舎すぎず都会すぎず自然と共存できる場所だという。「松山に来て、空を見つめることが多くなりました。私の1日は空を見ることから始まるんですよ。空がとても近く感じますね」

東日本大震災をきっかけに
田舎暮らしの夢を実現

は庭で薪割り。薪の着火剤には拾ってきた「松ぼっくり」を使うんですよ」と語るうえのさん。

～移住までの道のり～

- 移住年月／2011年8月
- 1ターンの
- 移住前の住まい／千葉県千葉市美浜区
- 職業／主婦
- 家族構成／夫婦
- 移住のきっかけ／移住前の住居が震災で液状化の被害を受けたこと
- 松山を選んだワケ／友人が愛媛に移住していたことと数回訪れた松山の印象がよかったから
- お気に入りの場所は／カフェや温泉、道後の足湯
- 移住の先輩として一言／物のとらえ方感じ方は本当に千差万別。移住してどういう暮らしをしたいかというイメージをしっかりとっておくことがとても重要だと思います

移住体験談

慣れ親しんだ 都会を離れ 海が見える 瀬戸内海の小島へ



おおきこみつひこ けいこ
大迫満彦さん(68)、佳子さん(64)夫妻
 ともに京都市出身。子どもは1男3女の4人。2014年3月、大阪府高槻市から夫婦で移り住む。

ビャクシン自生地が見える海岸で愛犬ココちゃんを散歩する満彦さんと佳子さん

～移住までの道のり～

- 移住年月／2014年3月
- 1ターンの
- 移住前の住まい／大阪府高槻市
- 職業／元会社員
- 家族構成／夫婦
- 移住のきっかけ／満彦さんの退職前から移住を考えていた。静かな土地にあこがれ
- 松山を選んだワケ／海が見えて、暖かい場所がよかったから
- お気に入りの場所は／二神島内のビャクシン自生地(愛媛県指定天然記念物)や馬口への散歩
- 移住の先輩として一言／以前と生活が変わるので、友人関係も変わりますが、さびしいとかマイナスに考えず、そういうものだと思え入れることが大切だと思います(佳子さん)

島での生活を体験し 人々の温かさを実感

長年、慣れ親しんでいた都会を離れ、瀬戸内海の小島へと生活の場を変えた大迫満彦さん、佳子さん夫妻。2014年3月、忽那諸島の南西端に位置する二神島へ移住した。佳子さんは「2人ともずっと京都、大阪に住んでいたのに、静かな土地へのあこがれがありました。娘に移住先を相談したら『海が見える場所がいい』と言うものですから」と説明。約3年前から「気候がよさそう」と瀬戸内海を移住先に絞り、多くの島を訪れた。

翌日、二神島へ向かうと、同島を紹介するテレビ番組の放映直後ということも重なり、島の人々から歓待を受けた。以降、満彦さんはその時に知り合った人が所有する家で2カ月に1度、約10日間の生活を数回続けた。「畑仕事を手伝ったり、魚を釣ってみたり」。島生活を体験すること、島民との距離は密接に。人々の温かさを感じたことが移住の決め手になった。



家庭菜園でブロッコリーの手入れをする佳子さん



釣りを楽しむ満彦さん、佳子さん

スローな時間のなかで 自給自足の生活を実現

二神島では、2人が思い描いていた「昔の田舎のような、素朴な自給自足の生活」が少しずつ実現できている。佳子さんは家庭菜園でトマトやキュウリ、ナスなど季節の野菜を栽培。満彦さんは移住当初、毎日のように1日かけて釣りを楽しみ、アジやサバなどをたくさん釣り上げた。佳子さんは「島の方々は親切で、うちではつくっていない野菜や魚をくださったりするんですよ」と喜ぶ。満彦さんも「都会に住んでいる時より、

食生活はレベルアップしていますね」と満足そう。島内に商店は少ないが、週に1度、移動販売のトラックがフェリーを使って訪れるため、日用品の購入には困らない。「今日が何日の何曜日とか忘れてしまうほど、時間の流れが非常にスローですね」と言う満彦さん。自宅にはテレビを置かず、ラジオやインターネットで情報収集をする日々。趣味の哲学を評論したブログを書くことが日課になっている。2人でビャクシン自生地などをコースに入れた散歩に出かけるなど、島生活を思う存分、楽しんでいる。

～ある日のスケジュール～

- 5:00
◎起床
佳子さん、起床。ゆっくりとコーヒーを飲んで目を覚まし、朝食を準備。
- 6:00
◎朝食
佳子さん1人で朝食。コーヒーと簡単なおかずが定番。
- 7:00
◎洗濯
洗濯をしながら、庭の掃除や倉庫を整理。
- 8:00
◎朝食
起床した満彦さんが朝食。おかゆが多い。
- 9:00
◎家庭菜園 & ブログ
満彦さんはブログの執筆。佳子さんは家庭菜園で野菜の手入れや草抜きなどを約2時間した後、昼食準備のため帰宅。
- 12:00
◎昼食
満彦さんいわく「奥さんを楽しませるため」と、昼食は麺類と決めているそう。昼食後は2時間、昼寝も日課。
- 15:00
◎おやつ & フェルティング
ココアや甘酒を飲みながらのおやつ。佳子さんは趣味のフェルティングで人形づくり。
- 20:00
◎お風呂 & ラジオ
お風呂に入り、寝る支度をしながらラジオを聴く。21時半ごろには就寝。



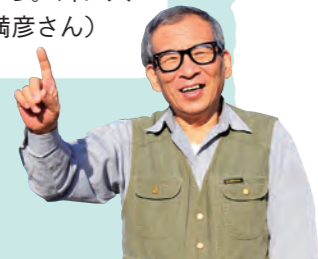
ブログを執筆する満彦さん



フェルティングでつくった人形を手に笑顔の佳子さん

松山暮らしのアドバイス /

これまでの生活と違うので、数年間は学ぶつもりでいたほうがいいですね。なぜ、こうなるんだろう?と思うこともあるでしょうけど、そこで生きてきた人たちの知恵がありますから。「郷に入れば、郷に従え」ですね(満彦さん)





松山暮らしをはじめる前に知っておきたい!

移住支援制度

松山暮らしを応援するさまざまな支援制度があります。あなたの夢の実現をサポートしてくれる各種制度をかしこく活用しましょう。
※移住支援制度には各種要件があります。詳しくはお問い合わせください。

まつやま就活支援ナビ

松山市では、「まつやま就活支援ナビ」サイトを運営しており、各年代に応じた就職支援の情報を掲載しています。

◎松山市地域経済課
TEL:089-948-6550



<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/sangyo/koyou/m-navi/>

ふるさと愛媛Uターンセンター

ふるさと愛媛へUターンして働きたい方、都会からUターンして愛媛で働きたい方をきめ細かくサポート。愛媛県へのU・Iターン就職の促進に取り組んでいます。

◎ふるさと愛媛Uターンセンター
TEL:089-913-8686



http://www.ai-work.jp/ui_turn/

仕事探しや起業を応援

未・来Jobまつやま

松山市が設置した「しごと創造の支援拠点」です。創業・経営、就労支援などの幅広いサービスをワンストップで提供しています。また、松山市への移住に際して、就労情報の提供や相談を行います。

◎未・来Jobまつやま
TEL:089-948-8035

<http://www.mirajob.jp>



ジョブカフェ愛work

ジョブカフェ愛workでは、概ね15~39歳と40代前半でサポートを希望される方を対象にひとり一人の状況に応じた就職活動のサポートをしています。

◎ジョブカフェ愛work
TEL:089-913-8686



<http://www.ai-work.jp/>

いきいき仕事センター

松山市シルバー人材センターでは、健康で働く意欲ある高齢者の方々に、豊かな知識・経験を生かせる仕事を紹介しています。

◎公益社団法人 松山市シルバー人材センター
TEL:089-948-8666



<http://www.ikiiki-shigoto.jp/>

農業がしたい方はこちら

農地情報

専業農業を目指す方に、所有者が貸付け等を希望する農地の情報や、借入れ手続きについて公開しています。また、就農相談も随時受付しています。

◎松山市農林水産課
TEL:089-948-6566

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/sangyo/noringyo/nochi/middlemanagement.html>



松山市創業資金利子補助金制度

松山市内で新たに事業を開始する事業者に対して、指定の金融機関(株式会社日本政策金融公庫)からの融資にかかる利子の一部を補助します。

◎松山市地域経済課
TEL:089-948-6399



お試し住宅

松山市では、離島振興策の一つとして、移住定住の促進に取り組んでいます。いきなり移住するのが心配な方は、お試し住宅を活用して、地域の人や文化と直接ふれあってみましょう。地元の人と交流する中で、地域の自然をはじめ、住宅や医療・福祉施設、商店などの生活環境を確認することもできます。

お試し住宅の入居を希望される方は松山市ホームページで空き状況や募集要項をご確認ください。

このうら 神浦定住促進施設(中島)

忽那諸島最大の島である中島の神浦(このうら)地区にある未利用の教員住宅を、島しょ部への移住希望者向けのお試し移住施設(定住促進施設)へと改装。入居期間は1カ月単位で最長1年。月額使用料は2DK=2万円。3DK=2万5千円(※浄化槽清掃費含む。その他光熱水費は入居者が契約の上実費負担)。

◎松山市坂の上の雲まちづくりチーム TEL:089-948-6816



ごごしま 体験滞在型交流施設(興居島) ~ハイムインゼルごごしま~

興居島の由良小学校跡地に、農業体験や地域との交流などを通して島での生活を体験できる滞在型交流施設「ハイムインゼルごごしま」が2017年4月オープン。間取りは1LDKで8棟用意。入居期間は1カ月単位で最長3年。使用料は、月額3万8千円(※浄化槽洗浄費含む。その他光熱費は入居者が契約の上実費負担)。1棟ごとに約100㎡の家庭菜園と自家用車1台スペースあり。

◎松山市坂の上の雲まちづくりチーム TEL:089-948-6816



住まい探しを応援

空き家バンク

松山市は、都道府県庁所在地における民間借家の家賃が全国1番目の安さで、様々なニーズに応じた物件が数多くあります。松山市内の賃貸物件、売買物件に関する情報については、各住宅情報サイトをご覧ください。また、愛媛県や松山市では、空き家バンクで情報を提供しています。

えひめ空き家情報バンク

移住希望者の関心の高い「田舎物件」など、愛媛県内の空き家情報を提供。空き家の詳細については、各物件情報に記載されている取扱自治体・不動産業者へ連絡を。その際、『えひめ空き家情報バンクを見た』とお伝えいただくとスムーズです。



◎愛媛ふるさと暮らし応援センター TEL:089-922-4110

<http://www.e-iju.net/akiya/public/Top>

町家バンク

松山市では、三津浜地区の活性化を図るため、地区内の古民家や町家などの空き家情報を収集するとともに、所有者と借り手のマッチングを図る「町家バンク」を管理運営しています。

◎ミツハマル TEL:089-951-0010

<http://www.mitsuhamaru.com/>



先輩移住者からのアドバイス

そこそこ都会で、そこそこ田舎暮らしをしたい人にはオススメの街です。(60代)

移住を計画している方にとって、一足お先に松山暮らしをはじめている移住の先輩の声は、共感できる情報がいっぱい。移住体験談や移住者のブログ等もチェックして、年間を通じた松山でのライフスタイルをシミュレーションしてみましょう。

実際に足を運んで数日間生活してみるといい。(20代)

街の中心部に住むと、観光客気分でご過ごせて楽しい。(20代)

けっこう県外者が多くて、よそ者扱いされる心配はないですよ。(30代)

電車やバスの便がいいところに住むのをおすすめします。(30代)

移住者へのフォローが温かく、安心して移住できます。(20代)

県庁所在地で、気候がおだやかで自然災害が少なく、新鮮食品が安くおいしいところはなかなかありませんよ。(50代)

街がコンパクトで自転車好きにおすすめの環境です。(30代)

中心部からあまり離れなければ車がなくても大丈夫。(30代)

地域の商店で買い物をすると、会話も生まれローカルな情報もゲットできますよ。(30代)

積極的に声かけをして、松山の人の温かな人情に触れてください。(30代)

新しいことを始めたい土地です。ぜひ、チャレンジを。(30代)

新鮮でおいしい食べ物が豊富で、あたたかい温泉とあたたかい人が多い松山は、住むのには最適です。(30代)

松山だけでなく、愛媛、四国を楽しむつもりで移住すると世界が広がります。(50代)

子育て世代が一番松山暮らしの良さを享受できるのではと思います。(60代)

地域のボランティア活動には参加しましょう。(30代)

りとう 里島空き家バンク

松山市では、豊かな自然と山海の幸に恵まれた島しょ部への移住定住の促進に取り組んでいます。

忽那諸島有人9島(中島・睦月島・野忽那島・怒和島・津和地島・二神島・興居島・釣島・安居島)の空き家情報を収集し発信する里島空き家バンクを整備し、2016年4月にホームページを開設。移住相談など、移住を考えている方の受け入れのサポートも行っています。

◎NPO法人農音 TEL:089-997-0255

<http://ritou-akiya.com>



[松山 基本DATA]

【人口・面積】

平成29年1月1日現在推計人口

総人口……………514,653人
 (男240,088人、女274,565人)
 世帯数……………235,271世帯
 世帯平均人数……………2.19人
 人口密度……………1,199人/km²
 松山市の面積……………429.37km²

【子育て・教育】

保育所……………56カ所
 幼稚園……………38園
 認定こども園……………26園
 小学校……………59校(うち4校休校)
 中学校……………29校
 高等学校……………16校
 大学……………4校(うち3校は短期大学あり)
 専門学校……………19校

(平成29年3月現在)

【医療】

病院、一般診療所……………532施設
 小児科……………48施設
 産科・婦人科……………26施設
 歯科……………259施設
 眼科……………40施設

(平成29年2月現在)

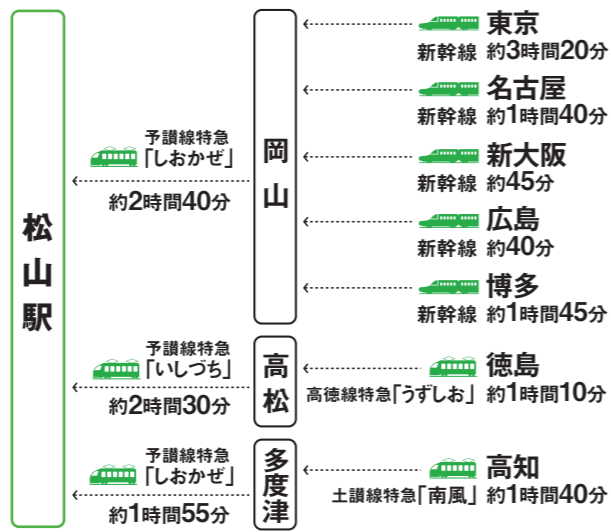
【福祉】

訪問介護……………185
 訪問看護……………61(みなし指定を除く)
 通所介護……………121
 短期入所生活介護……………60
 特定施設入居者生活介護……………47
 居宅介護支援……………204
 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)……………24
 介護老人保健施設……………15
 介護療養型医療施設……………9
 地域密着型通所介護……………80
 認知症対応型通所介護……………20
 小規模多機能型居宅介護……………52
 認知症対応型共同生活介護……………115
 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護(地域密着型特別養護老人ホーム)……………12
 サービス付き高齢者向け住宅……………76

(平成29年2月現在)

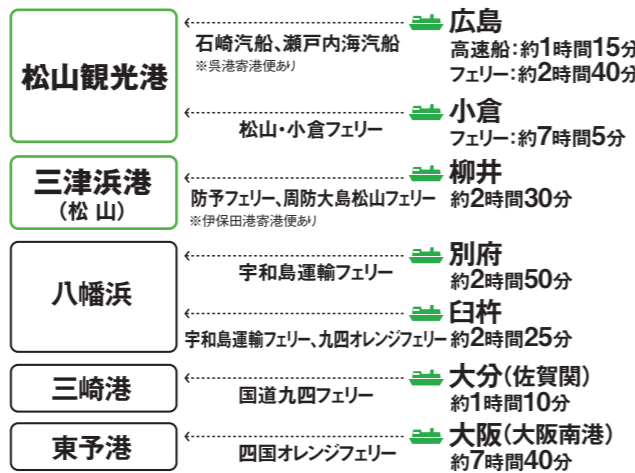
J R

本州から愛媛へのアクセスはJR岡山駅が起点になります。岡山駅からは瀬戸大橋を経由する「特急しおかぜ」が約1時間ごとに松山駅まで運行しています。



船

海に囲まれた愛媛には航路が多く、関西・中国・九州からのフェリーや高速艇が運航しています。松山観光港と広島港を約1時間15分で結ぶ高速艇は、1時間～1時間30分おきに運航しています。



車

本州から四国へは3ルートある本州四国連絡道路で結ばれています。関東・関西方面からは、「神戸淡路鳴門自動車道」または「瀬戸中央自動車道」、広島・九州方面からは、「西瀬戸自動車道(瀬戸内しまなみ海道)」が最短ルートです。

高速バス

東京、名古屋、京都、大阪など、国内主要都市と松山を結ぶ高速バス(夜行便)が運行しています。また関西圏や中国・四国各地からの移動に便利な高速バス(昼行便)も充実しています。

松山へのアクセス

松山市は、四国の左上に位置する愛媛県の県庁所在地で人口約51万人の四国最大の都市です。地方都市としては珍しく、市内中心部から車で約15～20分の近距離に松山空港があり便利です。首都圏や関西圏とのアクセスの良さをぜひ実感してください。

飛行機

東京(羽田・成田)、大阪(伊丹・関西)などの主要空港から松山空港まで国内8路線が定期運航しています。Jet Star(成田)やPeach(関西)などLCCも就航し、首都圏・関西圏からの移動がさらに便利になりました。

- 東京(羽田) ANA、JAL 約1時間35分
- 東京(成田) Jet Star 約1時間55分
- 名古屋(中部国際) ANA 約1時間10分
- 大阪(伊丹) ANA、JAL 約50分
- 大阪(関西) Peach 約55分
- 福岡 JAC 約45分
- 鹿児島 JAC 約55分
- 沖縄(那覇) ANA 約1時間40分

